

BMWクリーンディーゼル1泊2日モニター300名へ [PR]

初めての投資なら初心者にも優しいマネックス証券で [PR]

2015.3.3 07:08

文字の大きさ **小** **中** **大** 印刷

長野・須坂で30段ひな飾り

ブログを書く 0

ツイート 4

おすすめ 7

g+ 0

須坂市のアートパークで「三十段飾り千体の雛（ひな）祭り」が開かれており、パーク内の世界の民俗人形博物館、須坂版画美術館、歴史的建物園の3施設には、江戸時代～平成の約6千体のひな人形が飾られ、家族連れやカップルなどでにぎわっている。

メインは、世界の民俗人形博物館で展示されている高さ6メートル、約千体のひな人形が並んだ30段のひな飾り。同パークが「恋人の聖地」として知られることから、ぼんぼりと桜の木の飾りで、大小2つのハートを形作っている。

また、須坂版画美術館では、4月5日からの善光寺御開帳を記念し、ひな道具を並べて善光寺本堂を表現したひな飾りを展示している。

世界の民俗人形博物館と須坂版画美術館の清水富子館長は「普段、家でひな人形を飾らない方もひな人形の魅力を知っていただけるといい。ひな人形同士をじっくりと見比べて特徴などを良く見てほしい」と話している。

展示期間は、民俗人形博物館が4月19日まで、版画美術館と歴史的建物園が5月31日まで。いずれも開館時間は午前9時～午後5時で、会期中無休。入館料は民俗人形博物館と版画美術館共通入館券として、高校生以上500円、中学生以下無料。歴史的建物園は入場無料。

問い合わせは、民俗人形博物館（電）026・245・2340。